

平成 18 年 1 月吉日

各 位

日 本 保 険 ・ 年 金 リ ス ク 学 会  
研修会担当理事 金村慶二・河野年洋

### JARIP 平成17年度第3回研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）では、研修会を年4回程度予定しております。

第3回研修会を下記のとおり開催いたしますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

#### 1. 研修会の概要（詳細は別紙）

日時： 2006年1月27日（金）午後3時から5時

場所： 住友生命保険相互会社 東京本社 1階 101会議室（中央区築地7-18-24）

講師： 小暮 厚之氏（慶応義塾大学総合政策学部教授）

テーマ：「多変量派生証券の評価 - コピュラと共単調性によるアプローチ - 」

#### 2. 参加申込

参加者のお名前・組織名・E-mailアドレス・電話番号を明記の上、E-mailにて日本保険・年金リスク学会事務局（担当：中村）迄お申し込み下さい。

申込〆切は、2006年1月25日（水）です。

E-mail: office@jarip.org

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル9F 〒100-0005 京都大学経済研究所分室 内

Tel: 03-3201-5051 Fax: 03-3201-5058

#### 3. 参加費

会員；4,000円、学生会員；1,000円、非会員；10,000円

（法人会員は、3名までは1人当り4,000円、それ以上は1人当り10,000円となります）

参加費は、研修会当日、会場受付にてお支払い下さい。

なお、領収書が必要な方は、必ず事前申込時に領収書の宛先をメールに記載して下さい。

以上

## JARIP 平成17年度第3回研修会

A．日時；2006年1月27日(金)午後3時から5時

B．場所；住友生命保険相互会社 東京本社 1階101会議室

## 住友生命 東京本社



〒104-8430 東京都中央区築地7-18-24

(交通のご案内)

日比谷線築地駅 1番または、2番出口より徒歩5分

有楽町線新富町駅 4番または、6番出口より徒歩10分

東京駅南口都バス乗り場より

4号・5号系統築地6丁目バス停下車徒歩1分

C．テーマ；多変量派生証券の評価 - コピュラと共単調性によるアプローチ -

D．講師・プロフィール

小暮 厚之氏 (慶応義塾大学総合政策学部教授)

東北大学大学院経済学研究科修士課程(1979年)

イェール大学大学院統計学部博士課程(1986年)

福島大学経済学部助教授, 千葉大学法経学部教授を経て現職。

## E．講義の概要

多変量派生資産とは、将来支払われるペイオフが複数の原資産に依存する派生資産を指す。代表的なものとして、バスケット・オプションやレインボーオプションが挙げられる。このような多変量派生資産を評価するためには、多変量リスク中立分布を規定する必要がある。もしも多変量派生資産が市場において頻繁に取引されていれば、その市場価格から多変量派生リスク中立分布を抽出することが可能であろう。しかし、新たに多変量派生資産を市場に導入するや、既に導入されていたとしても流動性が低い場合には、市場価格から多変量リスク中立分布を完全に特定化することは困難である。ただし、そのような場合でも、多変量派生資産を構成する各個別資産は市場で広く取引されている場合が通常であり、少なくとも各資産の個別リスク中立周辺分布を規定することは可能であろう。

本報告では、個別リスク中立分布が既知であるという条件の下で、いかに多変量派生資産を評価すべきかという問題を考える。多変量リスク中立分布は、個別リスク中立分布とリスク中立コピュラ関数に分解できる。リスク中立コピュラをモデリングする手法として、個別ディストーションと同時ディストーションを考察する。また、共単調性の理論を用いて、リスク中立コピュラを規定することなく多変量資産を評価するアプローチを試みる。

以上